





(5) この文章で述べられている内容として正しいものには○、誤っているものには×で答えなさい。

- ア 助数詞の表現力を鍛えれば表現全般が豊かになる。
- イ 「把」とは束ねたものを数える助動詞である。
- ウ 「助数詞」ひとつとっても日本語は奥深いものである。
- エ 兎の数え方は昔と今とでは大きく変わってしまった。
- オ 特に最近の若者は助数詞の表現力が乏しい。
- カ 言葉を知っていても、実生活で応用するのは難しい。

ア
イ
ウ
エ
オ
カ

(6) 助数詞の使われ方として適切ではないものを、本文を参考にしながらあとのア～キから二つ選び、記号で答えなさい。

- ア 蔵一戸前
- イ 家三軒
- ウ バイオリン一据え
- エ 鱈子千腹
- オ 青菜二把
- カ 信号機四機
- キ 箆笥一棹
